

大館の歴史散歩

②

前田城跡

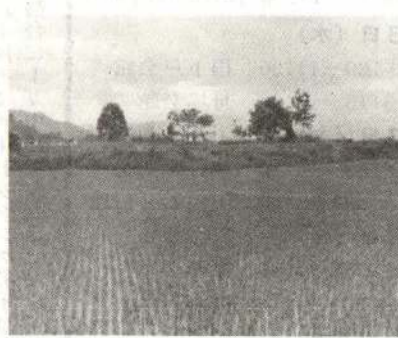
比内前田集落の西側約二五〇メートル、摩当山地から派出した丘陵最先端部にある。周囲の水田面からの比高二・五メートル、東西、南北ほぼ六〇メートルの方形プランの南側に、台形状の張り出し部がついた単郭式城館跡である。丘陵とは、幅七一〇メートル、深さ一・五メートル以上の比較的幅が広く浅い堀で割り切つ



◆交通・秋北バス比内前田下車 徒歩5分 ◎目標・桂清水神社

である。

一九七八年に大館市教育委員会が、堀と張り出し部（現、市道麓西線敷地）の発掘調査を行い、堅穴住居跡一戸、倉庫と考えられる塀立柱建物二棟、板堀遺構、方形堅穴、円形堅穴、溝遺構のほか多くの塀立柱穴を検出、堀は水量が豊富で、谷地堀あるいは水堀（濠）であったことが判明した。遺物は郭面から土師器、珠洲系摺鉢破片、漆内から黒洲塗木製くりぬき皿一個、木製くりぬき椀破片、須恵器片、緑釉皿破片、篋状木製品、元祐通宝（宋銭）が出土した。館跡の西側丘陵中腹には「桂清水神社」が座し、そのふもとに「桂清水」と呼ばれる湧水がある。この湧水は、当時おおいに活用されたであろう。



この館は、「浅利與市待分限」によると、前田清左衛門（知行七百刈）の居館で、それは攻防を目的とする城塞ではなく、浅利家臣団の一員として比内町地域を支配、経営した前田氏の屋敷跡で、慶長二年（一五九二）の「浅利頼平村数覚」には、「前田村 田 家六」とある。前田氏と五、六戸からなるその一族によって、日常はこの居館を中心に、比内前田地域の農耕生活が営まれていたものであろう。（大館市史編さん室）

図書館コーナー

～新着図書～

逆境を愛する男たち

（小島直記著・新潮社）

闘病、老い、投獄、失脚、鈍才の烙印等のいかなる逆境にも挫けず、力強く生き抜いた人々の生き方を辿り、悩める現代人に生きる勇気と指針を与えてくれる人物随想録である。

《一般書》

◇戦後日本の大衆文化史（鶴見俊輔著）
◇江戸学事典（西山松之助他編）◇道具づくし（別役実著）◇ゴリラ、森の穏やかな巨人（アラン・グドール著）◇星百科大事典（R・バーナム・Jr. 著）◇双影、芥川龍之助と夫比呂志（芥川瑠璃子著）◇親友記（足立巻一著）◇ほくろの呼鈴（武者小路辰子著）◇この世をば 上・下（永井路子著）◇俄瀧（高井有一著）◇アメリカ生きがいの旅（城山三郎著）◇撃墜 上（柳田邦男著）◇コンドミニウム 上・下（ジョン・D・マクドナルド著）ほか

《児童書》

◇全国優勝！かたうでの少年剣士（手島悠介作）◇キタキツネの家族（竹田津実著）◇季節と場所の遊び集（こすぎみちお編著）◇おさない原野（更科源蔵著）◇空ろそ雲もく（山脇恭著）ほか

中央図書館 ☎42-2525



マエダ内歩こう会

週に一度くらいは親子でゆつくり歩こうと、昭和四十六年「歩こう会」が釈迦内地区に誕生しました。会には毎週日曜の朝六時、釈迦内公民館前を出発します。夜遅いお父さんたちにとっては、ちよつと辛い時間帯

われらサークル仲間

No. 2

週に一度くらいは親子でゆつくり歩こうと、昭和四十六年「歩こう会」が釈迦内地区に誕生しました。会には毎週日曜の朝六時、釈迦内公民館前を出発します。夜遅いお父さんたちにとっては、ちよつと辛い時間帯

ですが、それでもせっかくの子供とコミュニケーションの機会と、たくさんの方が親子で参加しています。五月の第一日曜がその年の開始日になり、この日は慣例として神社に参拝して一年の安全祈願をします。一回に歩くコースはおよそ四キロですが、一時間足らずの散歩になります。毎週歩くコースを変えたり、おかげで日ごろ見慣れたはずの街並や風景が、時には新鮮に感じたり、自然の思わぬ発見に驚いたりすることもあり、子供たちにも郷土を見直してもらうためにも役立っていると思います。参加者からは好評です。

このほか、年一回の八幡平ハイキングや、コースとなっている道路のクリーンアップなどもあり、健康と親睦、町内の美化にと大いに活用されています。

同会では、朝のさわやかな空気をみんなで吸おうと、参加者を呼びかけています。一緒に歩きたい方は釈迦内公民館（☎48-2813）までご連絡ください。

市民の声

～入場券の購入方法について～

文化会館自主事業の入場券発売に関してお願いがあります。

催し物によっては、発売と同時に売り切れになることがあるような気がしますが、皆が公平に買えるようハガキでの予約抽選制度を採用してはいかがでしょうか。

（一市民）

〈答〉 入場券は、発売後早めに発売所に行ってください。これまでの場合購入できています。さて、予約抽選についてですが、抽選にすると購入者は座席を選択することができなくなり、希望の席の購入ができなくなります。また、会館で購入者を決定し入場券との引換えをすると、プレガイドが不用になるわけで、逆に多くの問題が生じます。ともあれ、市民の皆さんには、より多く、より良い条件で鑑賞していただくよう、今後とも努力していきますので、ご意見、ご提案等をよろしく願います。（市民文化会館）